

京都市民医連中央病院

新人看護師27名、助産師2名

京都民医連中央病院
副看護部長 小泉智香子



看護師27名、助産師2名計29名が国家試験に合格、晴れて入職しました。4月2日から県連、法人、病院の研修が続き、4日目から5日間の看護部研修、この新人研修を通じ、社会人としての自覚や専門職としての責任を感じたようです。

採血やエラスター留置、ポンプの取り扱い演習では、互いに針を刺しあい成功の喜びと患者さんの痛みを体験しました。4月10日は現場演習にて配属部署以外の部署で演習を行いました。患者さんを目の当たりに緊張していましたが、「実際の配属前に病棟体験ができ、心の準備ができた」「現場で業務を行うイメージがついた」と実りある研修になったと思います。

内部監査を実施して

財務部副部長
塩見好朗

1月17日から3月1日にかけて、34事業所(会計監査人監査を受けた事業所を除く)を対象に会計分野の内部監査を実施しました。

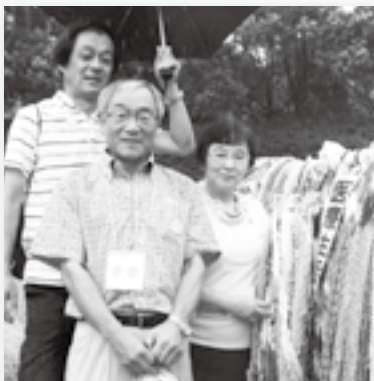
この監査は会計監査人監査の補完と監事監査で指摘されていた課題として実施しました。

監査内容は、民医連統一会計基準、法人経理規程、会計監査人・監事監査での指摘事項等を踏まえたチェックシートに基づき①現金の管理、②預金の管理、③帳簿・証憑の管理、④事業未収金の管理、⑤資産・債務の管理、⑥事業所運営としました。特に重点は現金管理と事業未収金管理でした。

現金の管理は、ほぼすべての事業所で問題なく管理されていました。保険未収金の管理は、管理台帳を作成し、振り込み誤差等を正確に把握している事業所がある一方、保険未収金の管理は中間と期末の年2回という事業所もありました。負担金未収金は、実施方法は様々ですが、一部を除いて入金時にチェックができるしくみが確立されていました。

要改善事項については、内部監査報告書を当該事業所に渡し、改善を提起しました。事業所では要改善事項について検討し、改善状況、改善方針を内部監査改善報告書に記載し、提出してもらいます。

4月11日より配属部署へ！緊張は続くものの、朝は西館の食堂に集まり仲間とともに病棟へ行く光景も見られました。まだまだ病院に来るだけで精一杯の新人です。長い眼で温かく見守ってください。名札の赤いひもは新人の目印、ちょっとした声かけで元気つけられます。よろしくお願います。



2011原水禁世界大会、中央が岡野さん

(まいづる協立診療所
鈴木勝良)

健康友の会の役員として10年来お世話になっていきます。年齢は64歳、元国鉄マンでたたき上げの活動家です。JRになる前後は苦勞されており、打たれ強さでは天下一品です。活動はオールマイティーですが、特に地域行動には他の会員さんを誘い、毎回参加してもらっています。

原水禁大会に30年ぶりに参加し、軍港を抱える舞鶴市の平和運動、そして原発隣接自治体として反原発署名を大いに取り組んでもらっています。岡野さんは、ダジャレが上手く場を和ませ、「私もがんばるが、みんなも一緒に」と呼びかけ、多数者づくりを心がけておられます。また、得意なことは、飲みニケーションと旅行です。いつも友の会日帰り旅行を企画していただき、ついに今年3月には友の会旅行サークルを結成してもらいました。

岡野さんは、「生涯一兵卒」としてがんばる決意を語られますが、その役割は、友の会に無くてはならないムードメーカー・組織者です。

友の会 活動家紹介

舞鶴健康友の会
岡野統一郎さん